

2026-07-26

1. Claude 5でsystem promptを80%以上削減
2. ChatGPT Workがログイン必須サイトを操作
3. Google ATLAS

7トピック

Claude 5でsystem promptを80%以上削減

強いモデルには「指示を足すより引く」

AnthropicのThariqは、Claude Opus 5 / Fable 5向けにClaude Codeのsystem promptを80%以上削除しても、社内のコーディング評価で測定可能な性能低下がなかったと報告した。

- 新モデル向け Claude Code system promptを80%以上削減しても、Anthropic社内coding evalで測定可能な低下なし
- 固定ルールの列挙より、周囲のコードにコメント密度・命名・イディオムを合わせる判断を促す
- ツール利用例を増やす代わりに、型・列挙値・状態制約でインターフェース自体を表現豊かにする

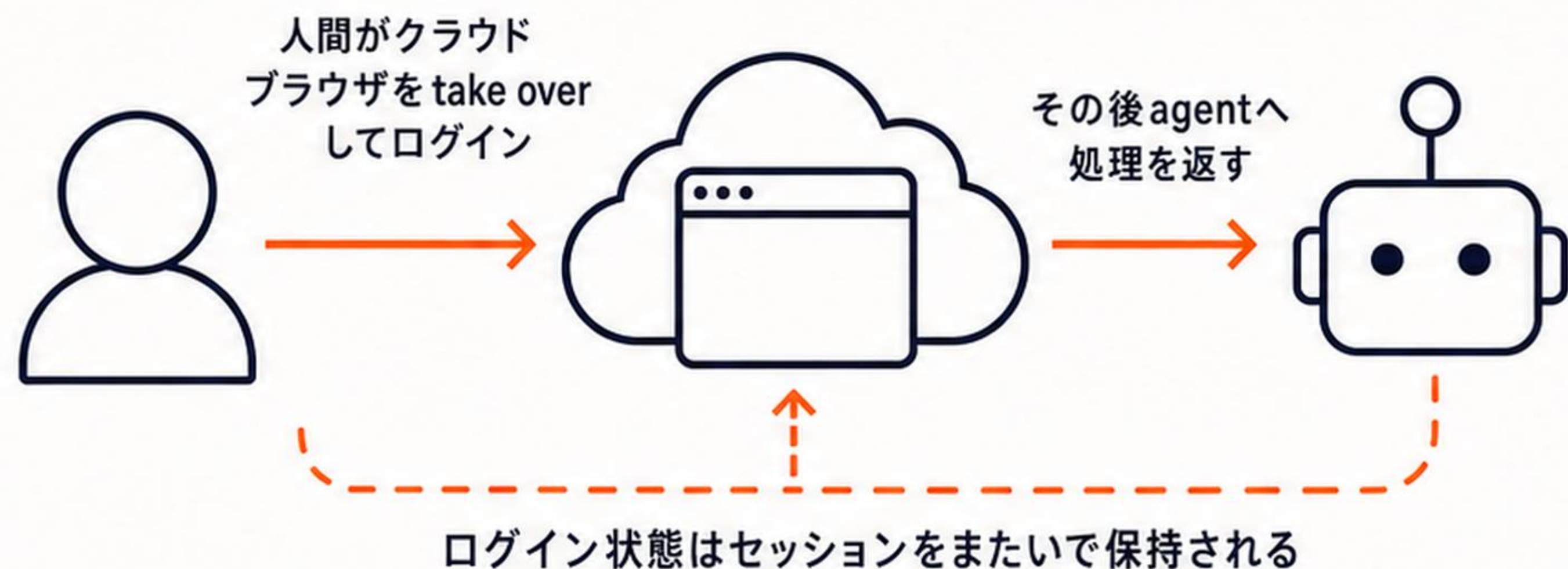


長大な AGENTS.md / CLAUDE.mdへ指示を足し続ける運用を見直す具体的な基準になる。

ChatGPT Workがログイン必須サイトを操作 人が認証だけ引き継ぐ

ChatGPT Work agentが、サインインを必要とするWebサイトを継続操作できるようになった。

- 人間がクラウドブラウザをtake overしてログインし、その後agentへ処理を返す
- ログイン状態はセッションをまたいで保持され、毎回の再認証を減らせる
- 認証情報そのものをプロンプトへ書かずに、要ログインの管理画面やSaaSを操作できる



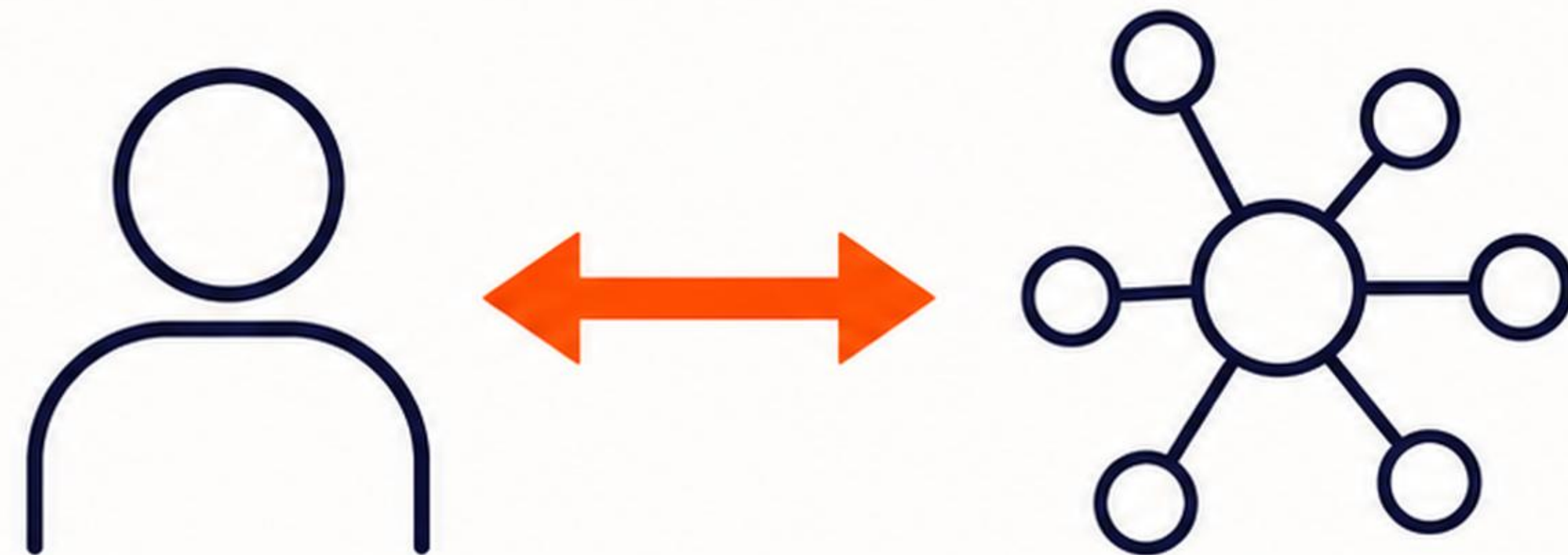
業務自動化で頻繁に詰まる認証境界を、『完全無人』か『全部手作業』かの二択にせず越える実装例。

Google ATLAS

1,500万件の実利用で見た『AIは仕事を丸ごと代替しない』

GoogleはAI & Economy ATLAS v1.0を公開し、Gemini App・AI Mode・Gemini APIにおける1,500万件の集計・匿名化interactionから、AIが仕事と日常でどう使われるかを分析した。

- 1,500万件、150超の国、140言語、800職種、4,000タスクを対象
- 職場利用は全産業と68%の職種に及ぶが、典型的な職種でAIを使うのはタスクの約21%
- 職場interactionの完全自動化は10%未満で、協働・支援が大半



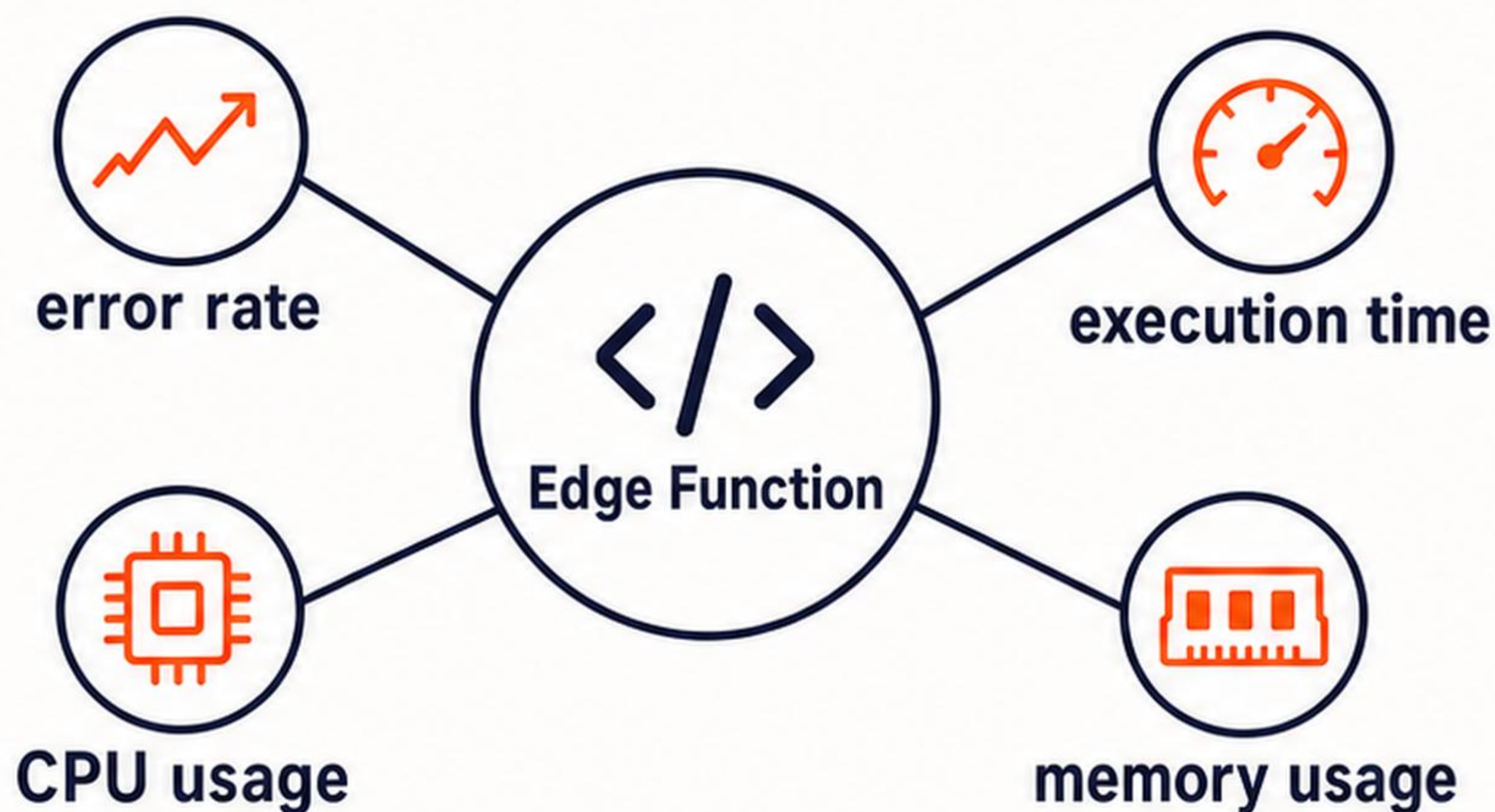
法人研修の出口を『職を丸ごと自動化』ではなく『各職種の高摩擦タスクを協働支援する』へ置く根拠になる。

Supabase Edge Functionsに運用画面

エラー率・実行時間・CPU・メモリを可視化

SupabaseはEdge Functionごとの稼働状況を確認できる新しいOverviewページの展開を始めた。

- Edge Function単位のOverviewページを追加
- error rateとexecution timeを表示
- CPU usageとmemory usageも同じ画面で確認



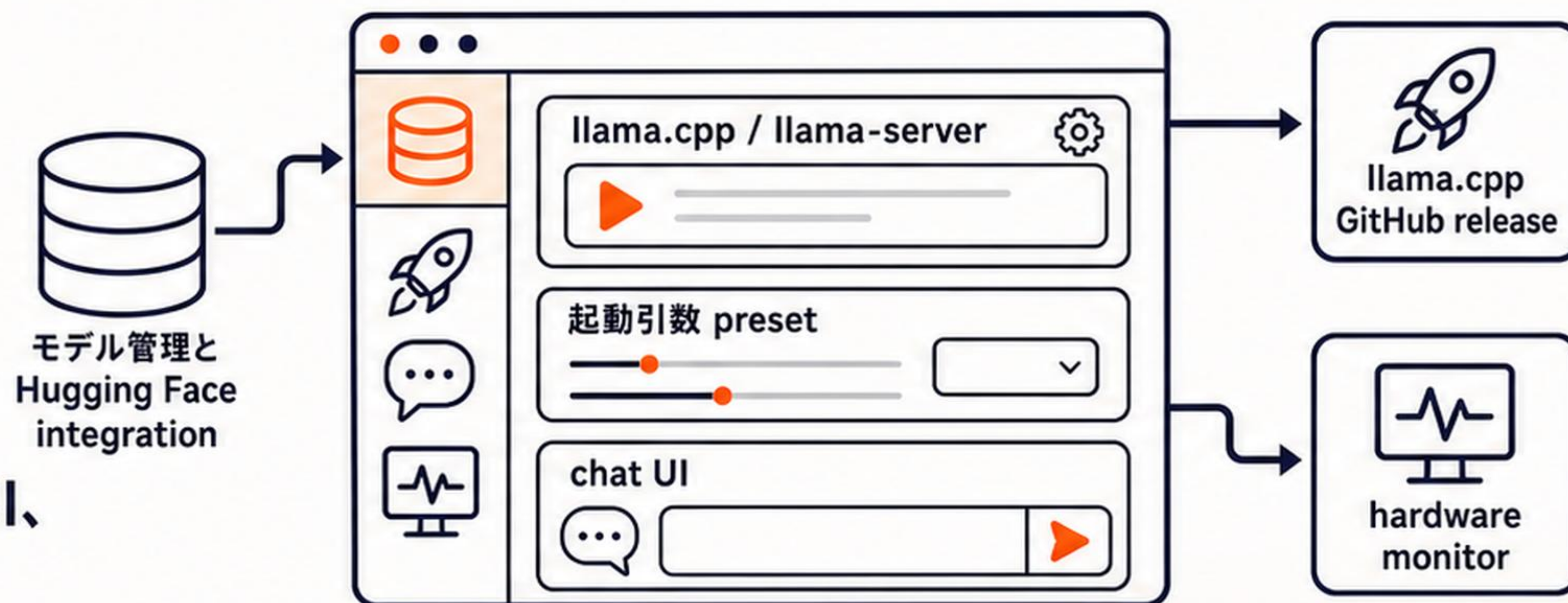
Vibe codingで作ったバックエンドは、動いた後を観測できるかで本番品質が変わる。

Arandu

llama.cppをGUIで管理、ローカルLLMの導入障壁を下げる

Aranduはllama.cpp / llama-serverをGUIから扱うデスクトップアプリで、モデル管理、Hugging Face連携、llama.cppのリリース管理、起動引数preset、内蔵chat UI、hardware...

- モデル管理とHugging Face integrationを内蔵
- llama.cpp GitHub releaseの管理とllama-server起動をGUI化
- 引数のカスタマイズ・preset、内蔵chat UI、hardware monitorを搭載



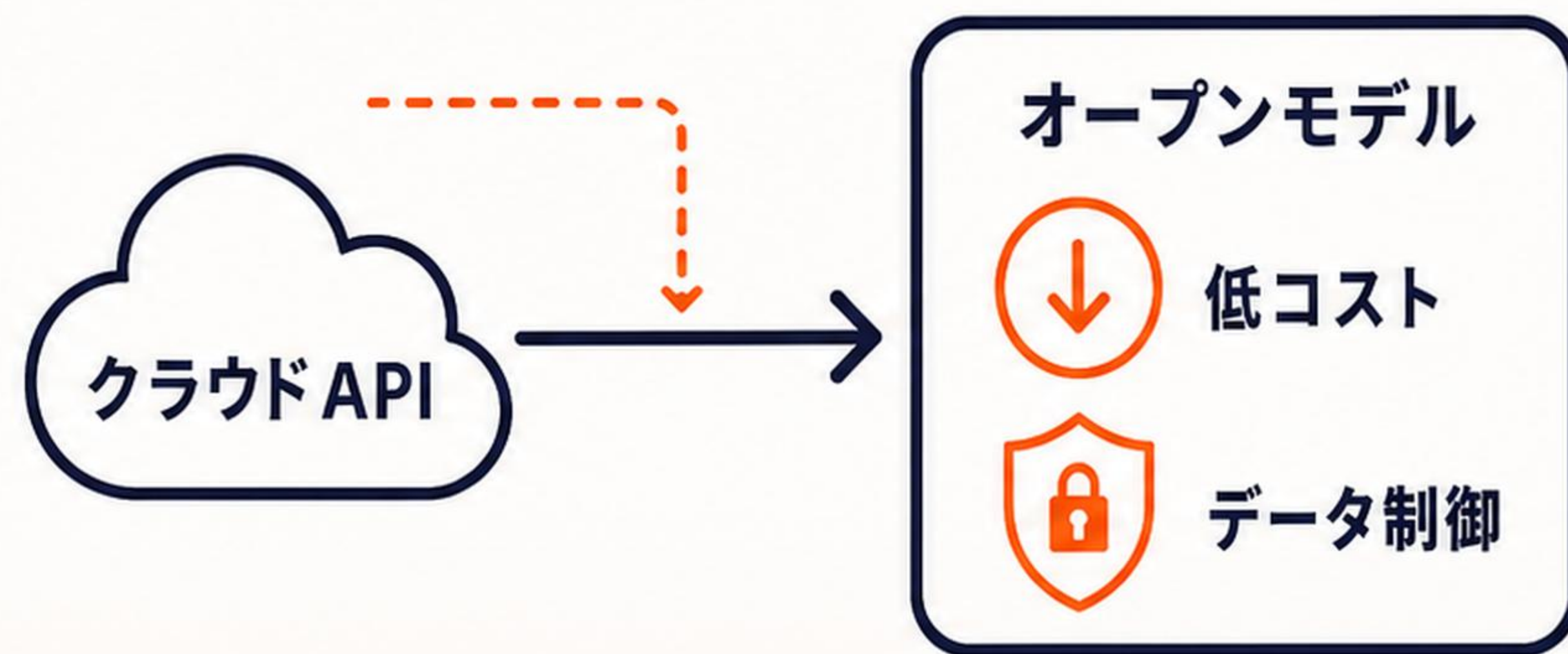
ローカルLLMは機密性・コスト・オフライン利用に強いが、環境構築が普及の壁になる。

Fortune 500がオープンモデルへ

Ollamaが語る「低コストとデータ制御」

Ollamaは、共同創業者Jeffrey MorganのYahoo Finance出演を紹介し、Fortune 500企業が低コストとデータ制御を理由にオープンソースモデルへ移行していると述べた。

- 移行理由としてクラウドAPIより低いコストを挙げる
- 自社データとモデル運用をより強く制御できる点を強調
- オープンモデルを自前基盤で動かす企業需要をOllama側から説明

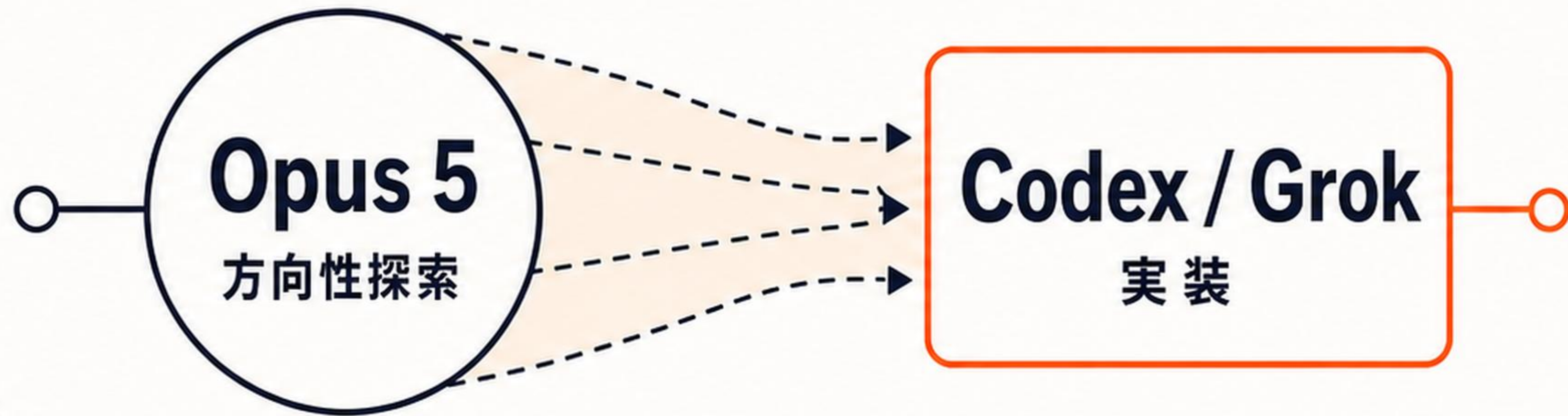


企業のモデル選定が「最強API一択」ではなく、コスト・機密・制御を含むポートフォリオ設計へ移る材料。

Opus 5は方向性探索、Codex / Grokは実装 モデル分業の実感レビュー

Kenn EjimaはOpus 5の実使用所感として、開発の方向性を探索する相談相手や大きな方針決定に向く一方、狭く深い実行・実装ではCodexやGrokを組み合わせると整理した。

- Opus 5は開発方針を広く探索する
相談相手として評価
- 大きな方向性を決める段階で
Claude系の特性を活用
- 狭く深い実装はCodexやGrokへ分担



AI組織を組むときは「一番賢いモデルは何か」より「どの工程を誰に持たせるか」が効く。

本日のトピック一覧

1. Claude 5で system promptを80%以上削減
2. ChatGPT Workがログイン必須サイトを操作
3. Google ATLAS
4. Supabase Edge Functionsに運用画面
5. Arandu
6. Fortune 500がオープンモデルへ
7. Opus 5は方向性探索、Codex / Grokは実装